

COLUMN 3 産官学の連携による地域の活性化

多摩地域には大学が多く集まっており、周辺には学生やアジア圏を中心とした留学生が多く居住しています。この地域の老朽化した団地を大規模に改修し、機能・性能を向上させることによって、学生の寮やシェアハウスとして、また、地域住民向けのコミュニティの場として活用する事例も見られ、地域の活性化につながっています。

CASE STUDY A ≫ 杏林大学×羽村市



教育、生涯学習、地域の産業、健康・福祉などの分野で連携協力

CASE STUDY C ≫ 桜美林大学×町田市



廃校の改修により、芸術・教育施設を設置し、団地再生の拠点として活用

CASE STUDY B ≫ 首都大学東京×(株)リビタ

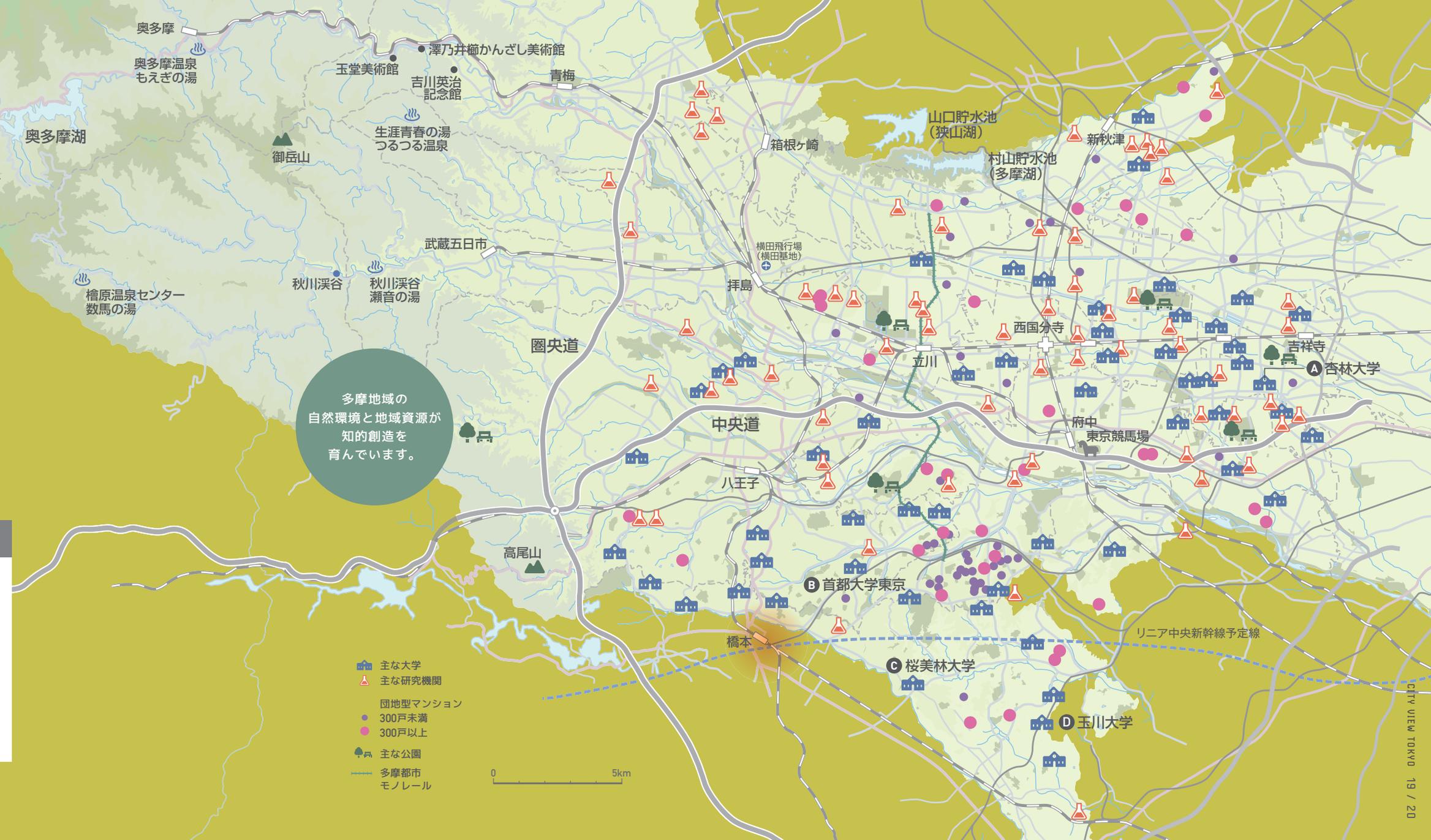


京王電鉄の元单身寮をシェア型賃貸住宅として再生し、一部を首都大学東京の国際学生宿舎として活用

CASE STUDY D ≫ 玉川大学×西松建設(株)



LED光源を利用したリーフレタス等の水耕栽培



多摩地域の自然環境と地域資源が知的創造を育んでいます。

- 主な大学
- 主な研究機関
- 団地型マンション
- 300戸未満
- 300戸以上
- 主な公園
- 多摩都市モノレール

0 5km